

第1章 水道ビジョン策定の趣旨

1 策定の趣旨

糸魚川市は、平成17年3月19日に一市二町（旧糸魚川市、能生町、青海町）が合併し、新市となりました。新市の水道事業は、旧市町の水道事業をそのまま継承しており、市営・組合営を合せて61箇所の水道が点在しています。

本市では、平成19年度を初年度とする「糸魚川市総合計画」を策定し、新市のまちづくりの目標等を示しています。その中で、水道事業については、ライフラインの充実整備を進め快適な生活基盤づくりを推進しています。

国は、平成16年6月に我が国を取り巻く新たな課題・環境を踏まえ、今後の水道のあるべき将来像を定め、その目標実現のための具体的な施策や工程等を示した「水道ビジョン」を策定し公表しています。

これを受け、本市では、安全でおいしい水を安定的に供給するために、水道事業の現状と課題を総合的に考察した上で、目指すべき将来像を描き、その実現のための方策等を示すものとして「糸魚川市水道ビジョン」を作成しました。

2 ビジョンの位置づけ

国の水道ビジョンでは、「安心」、「安定」、「持続」、「環境」、「国際」という5つの主要政策課題を掲げ、お客様のニーズに対応した信頼性の高い水道を次世代に継承していくことを目標に、水道界全体でこれに取り組むものとしています。

これらのことを踏まえ、本市では、水道事業の現状と課題を明確にするなかで、「糸魚川市総合計画」を基本とし、今後の事業の運営に関する長期的な方向性と施策推進の基本的な考え方を示します。

個々の事業の実施にあたっては、3年ごとに策定する糸魚川市総合計画実施計画により、効率的かつ効果的な事業となるよう着実な管理を行っていきます。

また、水道を取り巻く社会環境に変化が生じた場合は、適宜見直しを行っていきます。

3 計画期間

国の水道ビジョンは、目標期間を10年としていますが、当市では財政事情等を勘案し平成21年度から20年間を計画期間とします。

第2章 水道事業の概要

1 水道事業の現況

本市の水道事業は、平成17年3月の一市二町の合併に伴う水道事業の統合により誕生しました。本市域の大部分は中山間地であり、また河川も多く、清浄で豊富な水に恵まれています。

しかし、山や谷に挟まれた高低差の激しい地区が多く存在しているため、水道事業の統合が進展せず、上水道3区域のほか、市営簡易水道等が17箇所、組合営水道が41箇所、合せて61箇所の水道が点在しています。

■ 上水道

(単位：人・戸・m³)

区 域	給水人口	給水戸数	年間配水量
糸 魚 川	22,297	9,887	3,479,427
能 生	6,150	2,464	943,197
青 海	8,478	3,504	1,274,898
計	36,925	15,855	5,697,522

(平成20年3月31日現在)

■ 市営簡易水道等

(単位：人・戸・m³)

区 域	水 道 名 称	給水人口	給水戸数	年間配水量
糸魚川	白馬簡易水道	9	6	28,548
	小滝簡易水道	44	33	18,117
	根小屋簡易水道	324	136	39,269
	東中簡易水道	187	74	19,137
	西海簡易水道	718	258	108,336
	早川簡易水道	430	176	57,546
能 生	能生谷簡易水道	2,814	985	312,008
	大洞簡易水道	111	48	9,974
	中尾新戸簡易水道	258	104	34,396
	高倉簡易水道	92	32	5,546
	徳合仙納簡易水道	344	120	28,752
	柵口簡易水道	49	31	10,180
	田麦平小規模水道	23	14	3,688
	飛山小規模水道	48	21	3,128
青 海	歌外波簡易水道	426	256	65,955
	市振簡易水道	516	238	94,189
	上路簡易水道	52	42	6,380
計		6,445	2,574	845,149

(平成20年3月31日現在)

■ 組合営水道（糸魚川区域）

（単位：人）

区 分	水道名称	給水人口	区 分	水道名称	給水人口
専用水道	緑町	176	小規模水道	自噴	36
簡 易 水 道	下早川	1,605		来海沢東山	36
	五十原	37		市野々	22
	谷根	61		西飲料	33
	越川原	138		眞木	23
	猫又	97		栗倉	33
	梶屋敷中央	415		上向	63
	山口	87		山寺	64
	上町屋	134		仁王堂	48
	栗山	86		稲場	25
	大野中央	941		中根知	82
	戸沢	294		大神堂	40
	八千川	120		井口	67
小規模水道	東海	98		上野	59
	谷根上部	50		別所	40
	谷根下部	36		夏中	41
	高谷根	59		東峰上部	4
	下出	24		瀬野田	32
	東塚	59		中川原	31
	西塚	39		西川原	51
	栗尾	20	計		5,406

（平成20年3月31日現在）



2 市営水道事業の業務量

(1) 業務量

(単位 : 人・戸・ m^3)

項 目	上 水 道	簡易水道	合 計
計画給水人口	43,800	9,627	53,427
給水人口	36,925	6,445	43,370
給水戸数	15,855	2,574	18,429
年間配水量	5,697,522	845,149	6,542,671
一日最大配水量	19,719	3,949	23,668
一日平均配水量	15,567	2,315	17,882
年間給水量	5,139,447	686,913	5,826,360
一日平均給水量	14,042	1,877	15,919
有 収 率 (%)	90.2	81.3	89.1

(平成20年3月31日現在)

(2) 上水道用途別給水状況

(単位 : m^3 ・戸)

種別 区分		一 般	営 業	工 業	官公庁 病院等	その他	臨 時	計
給 水 量		3,656,889	774,761	15,101	486,632	44,178	22,886	5,139,447
給水戸数		13,873	1,146	23	430	10	373	15,855
構成 比率 (%)	量	71.1	15.1	3.0	9.5	0.9	0.4	100.0
	戸数	87.5	7.2	0.1	2.7	0.1	2.4	100.0
一戸当り 月給水量		21.9	56.0	558.3	91.8	350.6	4.9	26.9

(注) 一戸当たりの月給水量は延べ戸数で算定

(平成20年3月31日現在)

